

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・重度・重複学級・1グループ		担当者名	○大谷 英行
教科・領域名		美術			
ね ら い		(1)造形的な視点で表現方法を工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさを豊かに創造的な活動ができるようにする。 (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。			
曜日・校時・時間		水曜日・5時間目・11:40～12:30			
指導場所		美術室			
年間授業時数		38 時間			
使用教科書		美術2・3（光村図書）			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	サインデザイン (表示・看板・案内)	2	○伝えたり、使ったりする目的や条件を基に主題を生み出し、創造的な構成ができるようになる。 □身近にあるデザインを知る。(知識・技能) □誰にでも伝わるようにサインやロゴ、言葉などで表現を工夫し、構想を練って制作する。(主体的に学習に取り組む態度)	・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人がサインデザインの資料を主体的に集める。	
5	カラーデザイン (色彩構成)	3	○限られた色彩で視覚をととして主題を伝達し、創造的な図案を制作できるようにする。 □ベースカラー、メインカラー、アクセントカラーの役割を理解し、表現を工夫する。(主体的に学習に取り組む態度) □点と線と面と塊を活用した表現方法を学習する。(知識・技能) □多様な画材を利用した塗り方、描き方の技法を学習する。(知識・技能)	・発色の良い画材を使い、色の特色や組み合わせの効果について理解を深める。	
6		4			
7	立体デザイン (オブジェ)	3	○意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを表現できる。 □自由な発想・構想から生み出したアイデアを練る。(思考・判断・表現) □アイデアスケッチを基に、必要な材料や用具、イメージの根拠等を記述する。(主体的に学習に取り組む態度) □作品を鑑賞し、互いの作品の気付いたところを発表する。(思考・判断・表現)	・360度どこから見ても楽しめる形を考えられるように、あらゆる角度から作品を見るように促す。	
9		4			
10	メディアデザイン (写真加工・動画撮影)	4	○映像メディア機器等の特性や効果を知り、主体的に表現方法や編集を工夫できるようにする。 □撮影方法、編集方法について学習する。(知識・技能) □見た人に伝わる効果を考えながら、自由な発想・構想を基に制作をする。(主体的に学習に取り組む態度)	・参考資料を提示し、生徒が扱いやすい編集アプリを精選して用いる。繰り返し取り組み、さらなる工夫を促す。	
11	スペースデザイン (舞台・展示)	4	○空間や特定の環境を豊かにする美術の働きを考え、見方や感じ方を広げられるようになる。 □舞台や展示空間に関わる美術について学習する。(知識・技能) □目的や条件に応じて、具体的な形に表現する活動をする。(主体的に学習に取り組む態度) □複数の芸術が調和した総合芸術を学習する。(思考・判断・表現)	・集団で協力し制作するために、グループごとの役割や目標について共有し、協力できる環境を設定する。	
12		4			
1	卒業制作	3	○3年間で学んだことを生かし、意図に応じて表現方法を追求し、制作できるようにする。 □これまで学んだ画材等の使い方を制作に生かす。(思考・判断・表現) □気持ちをこめて作品を制作しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □互いの作品を鑑賞し、3年間で振り返る。(主体的に学習に取り組む態度)	・実際に飾ったり使ったりできる題材を設定し、自分や支えてくれた人のために作品を制作する。写真を活用し、これまでを振り返る機会をつくる。	
2		4			
3	鑑賞	3	○身の回りにあるものを造形的な視点で見つめ、新たな気付きや発見ができるようになる。 □鑑賞を通じて、見方や感じ方を広げる学習をする。(知識・技能) □造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫を考える。(思考・判断・表現)	・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人が気付きや意見を発信できるようにする。	
備考		【鑑賞】通年、対話による鑑賞を行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ類型・普通学級・2グループ		担当者名	○大谷 英行
教科・領域名		美術			
ね ら い		(1)造形的な視点で表現方法を工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさを豊かに創造的な活動ができるようにする。 (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。			
曜日・校時・時間		水曜日・5時間目・11:40～12:30			
指導場所		美術室			
年間授業時数		38 時間			
使用教科書		美術2・3（光村図書）			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	サインデザイン (表示・看板・案内)	2	○伝えたり、使ったりする目的や条件を基に主題を生み出し、創造的な構成ができるようになる。 □身近にあるデザインを知る。(知識・技能) □誰にでも伝わるようにサインやロゴ、言葉などで表現を工夫し、構想を練って制作する。(主体的に学習に取り組む態度)		・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人がサインデザインの資料を主体的に集める。
5	カラーデザイン (色彩構成)	3	○限られた色彩で視覚をとおして主題を伝達し、創造的な図案を制作できるようにする。 □ベースカラー、メインカラー、アクセントカラーの役割を理解し、表現を工夫する。(主体的に学習に取り組む態度) □点と線と面と塊を活用した表現方法を学習する。(知識・技能) □多様な画材を利用した塗り方、描き方の技法を学習する。(知識・技能)		・発色の良い画材を使い、色の特色や組み合わせの効果について理解を深める。
6		4			
7	立体デザイン (オブジェ)	3	○意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを表現できる。 □自由な発想・構想から生み出したアイデアを練る。(思考・判断・表現) □アイデアスケッチを基に、必要な材料や用具、イメージの根拠等を記述する。(主体的に学習に取り組む態度) □作品を鑑賞し、互いの作品の気付いたところを発表する。(思考・判断・表現)		・360度どこから見ても楽しめる形を考えられるように、あらゆる角度から作品を見るように促す。
9		4			
10	メディアデザイン (写真加工・動画撮影)	4	○映像メディア機器等の特性や効果を知り、主体的に表現方法や編集を工夫できるようにする。 □撮影方法、編集方法について学習する。(知識・技能) □見た人に伝わる効果を考えながら、自由な発想・構想を基に制作をする。(主体的に学習に取り組む態度)		・参考資料を提示し、生徒が扱いやすい編集アプリを精選して用いる。繰り返し取り組み、さらなる工夫を促す。
11	スペースデザイン (舞台・展示)	4	○空間や特定の環境を豊かにする美術の働きを考え、見方や感じ方を広げられるようになる。 □舞台や展示空間に関わる美術について学習する。(知識・技能) □目的や条件に応じて、具体的な形に表現する活動をする。(主体的に学習に取り組む態度) □複数の芸術が調和した総合芸術を学習する。(思考・判断・表現)		・集団で協力し制作するために、グループごとの役割や目標について共有し、協力できる環境を設定する。
12		4			
1	卒業制作	3	○3年間で学んだことを生かし、意図に応じて表現方法を追求し、制作できるようにする。 □これまで学んだ画材等の使い方を制作に生かす。(思考・判断・表現) □気持ちをこめて作品を制作しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □互いの作品を鑑賞し、3年間で振り返る。(主体的に学習に取り組む態度)		・実際に飾ったり使ったりできる題材を設定し、自分や支えてくれた人のために作品を制作する。写真を活用し、これまでを振り返る機会をつくる。
2		4			
3	鑑賞	3	○身の回りにあるものを造形的な視点で見つめ、新たな気付きや発見ができるようになる。 □鑑賞を通じて、見方や感じ方を広げる学習をする。(知識・技能) □造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫を考える。(思考・判断・表現)		・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人が気付きや意見を発信できるようにする。
備考		【鑑賞】通年、対話による鑑賞を行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ 類型・ 普通学級・3グループ		担当者名	○大谷 英行
教科・領域名		美術			
ね ら い		(1)造形的な視点について考え、表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさについて考え、構想を練ったり、見方や考え方を深めたりすることができるようにする。 (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情と心豊かな生活を創造していく態度を培う。			
曜日・校時・時間		金曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		美術室			
年間授業時数		38 時間			
使用教科書		美術2・3（光村図書）			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	サインデザイン (表示・看板・案内)	2	○伝えたり、使ったりする目的や条件を基に主題を生み出し、創造的な構成ができるようになる。 □身近にあるデザインを知る。(知識・技能) □誰にでも伝わるようにサインやロゴ、言葉などで表現を工夫し、構想を練って制作する。(主体的に学習に取り組む態度)	・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人がサインデザインの資料を主体的に集める。	
5	カラーデザイン (色彩構成)	3	○限られた色彩で視覚をとらえて主題を伝達し、創造的な図案を制作できるようにする。 □ベースカラー、メインカラー、アクセントカラーの役割を理解し、表現を工夫する。(主体的に学習に取り組む態度)	・発色の良い画材を使い、色の特色や組み合わせの効果について理解を深める。	
6		4	□点と線と面と塊を活用した表現方法を学習する。(知識・技能) □多様な画材を利用した塗り方、描き方の技法を学習する。(知識・技能)		
7	立体デザイン (オブジェ)	3	○意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを表現できる。 □自由な発想・構想から生み出したアイデアを練る。(思考・判断・表現) □アイデアスケッチを基に、必要な材料や用具、イメージの根拠等を記述する。(主体的に学習に取り組む態度)	・360度どこから見ても楽しめる形を考えられるように、あらゆる角度から作品を見るように促す。	
9		4	□作品を鑑賞し、互いの作品の気付いたところを発表する。(思考・判断・表現)		
10	メディアデザイン (写真加工・動画撮影)	4	○映像メディア機器等の特性や効果を知り、主体的に表現方法や編集を工夫できるようにする。 □撮影方法、編集方法について学習する。(知識・技能) □見た人に伝わる効果を考えながら、自由な発想・構想を基に制作をする。(主体的に学習に取り組む態度)	・参考資料を提示し、生徒が扱いやすい編集アプリを精選して用いる。繰り返し取り組み、さらなる工夫を促す。	
11	スペースデザイン (舞台・展示)	4	○空間や特定の環境を豊かにする美術の働きを考え、見方や感じ方を広げられるようになる。 □舞台や展示空間に関わる美術について学習する。(知識・技能) □目的や条件に応じて、具体的な形に表現する活動をする。(主体的に学習に取り組む態度)	・集団で協力し制作するために、グループごとの役割や目標について共有し、協力できる環境を設定する。	
12		4	□複数の芸術が調和した総合芸術を学習する。(思考・判断・表現)		
1	卒業制作	3	○3年間で学んだことを生かし、意図に応じて表現方法を追求し、制作できるようにする。 □これまで学んだ画材等の使い方を制作に生かす。(思考・判断・表現) □気持ちをこめて作品を制作しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・実際に飾ったり使ったりできる題材を設定し、自分や支えてくれた人のために作品を制作する。写真を活用し、これまでを振り返る機会をつくる。	
2		4	□互いの作品を鑑賞し、3年間を振り返る。(主体的に学習に取り組む態度)		
3	鑑賞	3	○身の回りにあるものを造形的な視点で見つめ、新たな気付きや発見ができるようになる。 □鑑賞を通じて、見方や感じ方を広げる学習をする。(知識・技能) □造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫を考える。(思考・判断・表現)	・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人が気付きや意見を発信できるようにする。	
備考		【鑑賞】通年、対話による鑑賞を行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ類型・普通学級・4グループ		担当者名	○大谷 英行
教科・領域名		美術			
ね ら い		(1)造形的な視点について考え、表現方法を工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表現の工夫などについて考え、構想を練ったり、見方や考え方を深めたりすることができるようにする。 (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情と心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。			
曜日・校時・時間		金曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		美術室			
年間授業時数		38 時間			
使用教科書		美術2・3（光村図書）			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	サインデザイン (表示・看板・案内)	2	○伝えたり、使ったりする目的や条件を基に主題を生み出し、創造的な構成できるようにする。 □身近にあるデザインを知る。(知識・技能) □誰にでも伝わるようにサインやロゴ、言葉などで表現を工夫し、構想を練って制作する。(主体的に学習に取り組む態度)		・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人がサインデザインの資料を主体的に集める。
5	カラーデザイン (色彩構成)	3	○限られた色彩で視覚をととして主題を伝達し、創造的な図案を制作できるようにする。 □ベースカラー、メインカラー、アクセントカラーの役割を理解し、表現を工夫する。(主体的に学習に取り組む態度) □点と線と面と塊を活用した表現方法を学習する。(知識・技能) □多様な画材を利用した塗り方、描き方の技法を学習する。(知識・技能)		・発色の良い画材を使い、色の特色や組み合わせの効果について理解を深める。
6		4			
7	立体デザイン (オブジェ)	3	○意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを表現できる。 □自由な発想・構想から生み出したアイデアを練る。(思考・判断・表現) □アイデアスケッチを基に、必要な材料や用具、イメージの根拠等を記述する。(主体的に学習に取り組む態度) □作品を鑑賞し、互いの作品の気付いたところを発表する。(思考・判断・表現)		・360度どこから見ても楽しめる形を考えられるように、あらゆる角度から作品を見るように促す。
9		4			
10	メディアデザイン (写真加工・動画撮影)	4	○映像メディア機器等の特性や効果を知り、主体的に表現方法や編集を工夫できるようにする。 □撮影方法、編集方法について学習する。(知識・技能) □見た人に伝わる効果を考えながら、自由な発想・構想を基に制作をする。(主体的に学習に取り組む態度)		・参考資料を提示し、生徒が扱いやすい編集アプリを精選して用いる。繰り返し取り組み、さらなる工夫を促す。
11	スペースデザイン (舞台・展示)	4	○空間や特定の環境を豊かにする美術の働きを考え、見方や感じ方を広げられるようになる。 □舞台や展示空間に関わる美術について学習する。(知識・技能) □目的や条件に応じて、具体的な形に表現する活動をする。(主体的に学習に取り組む態度) □複数の芸術が調和した総合芸術を学習する。(思考・判断・表現)		・集団で協力し制作するために、グループごとの役割や目標について共有し、協力できる環境を設定する。
12		4			
1	卒業制作	3	○3年間で学んだことを生かし、意図に応じて表現方法を追求し、制作できるようにする。 □これまで学んだ画材等の使い方を制作に生かす。(思考・判断・表現) □気持ちをこめて作品を制作しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □互いの作品を鑑賞し、3年間で振り返る。(主体的に学習に取り組む態度)		・実際に飾ったり使ったりできる題材を設定し、自分や支えてくれた人のために作品を制作する。写真を活用し、これまでを振り返る機会をつくる。
2		4			
3	鑑賞	3	○身の回りにあるものを造形的な視点で見つめ、新たな気付きや発見ができるようになる。 □鑑賞を通じて、見方や感じ方を広げる学習をする。(知識・技能) □造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫を考える。(思考・判断・表現)		・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人が気付きや意見を発信できるようにする。
備考		【鑑賞】通年、対話による鑑賞を行う。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅱ類型・普通学級・5・6グループ		担当者名	○大谷 英行
教科・領域名		美術			
ね ら い		(1)造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。 (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や考え方を深めたりすることができる。 (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
曜日・校時・時間		金曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		美術室			
年間授業時数		36 時間			
使用教科書		美術2・3（光村図書）			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	サインデザイン (表示・看板・案内)	3	○伝えたり、使ったりする目的や条件を基に主題を生み出し、創造的な構成できるようになる。 □身近にあるデザインを知る。(知識・技能) □誰にでも伝わるようにサインやロゴ、言葉などで表現を工夫し、構想を練って制作する。(主体的に学習に取り組む態度)	・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人がサインデザインの資料を主体的に集める。	
5	カラーデザイン (色彩構成)	4	○限られた色彩で視覚をととして主題を伝達し、創造的な図案を制作できるようになる。 □ベースカラー、メインカラー、アクセントカラーの役割を理解し、表現を工夫する。(主体的に学習に取り組む態度) □点と線と面と塊を活用した表現方法を学習する。(知識・技能) □多様な画材を利用した塗り方、描き方の技法を学習する。(知識・技能)	・発色の良い画材を使い、色の特色や組み合わせの効果について理解を深める。	
6		4			
7	立体デザイン (オブジェ)	2	○意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを表現できる。 □自由な発想・構想から生み出したアイデアを練る。(思考・判断・表現) □アイデアスケッチを基に、必要な材料や用具、イメージの根拠等を記述する。(主体的に学習に取り組む態度) □作品を鑑賞し、互いの作品の気付いたところを発表する。(思考・判断・表現)	・360度どこから見ても楽しめる形を考えられるように、あらゆる角度から作品を見るように促す。	
9		4			
10	メディアデザイン (写真加工・動画撮影)	4	○映像メディア機器等の特性や効果を知り、主体的に表現方法や編集を工夫できるようになる。 □撮影方法、編集方法について学習する。(知識・技能) □見た人に伝わる効果を考えながら、自由な発想・構想を基に制作をする。(主体的に学習に取り組む態度)	・参考資料を提示し、生徒が扱いやすい編集アプリを精選して用いる。繰り返し取り組み、さらなる工夫を促す。	
11	スペースデザイン (舞台・展示)	4	○空間や特定の環境を豊かにする美術の働きを考え、見方や感じ方を広げられるようになる。 □舞台や展示空間に関わる美術について学習する。(知識・技能) □目的や条件に応じて、具体的な形に表現する活動をする。(主体的に学習に取り組む態度) □複数の芸術が調和した総合芸術を学習する。(思考・判断・表現)	・集団で協力し制作するために、グループごとの役割や目標について共有し、協力できる環境を設定する。	
12		3			
1	卒業制作	3	○3年間で学んだことを生かし、意図に応じて表現方法を追求し、制作できるようになる。 □これまで学んだ画材等の使い方を制作に生かす。(思考・判断・表現) □気持ちをこめて作品を制作しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □互いの作品を鑑賞し、3年間を振り返る。(主体的に学習に取り組む態度)	・実際に飾ったり使ったりできる題材を設定し、自分や支えてくれた人のために作品を制作する。写真を活用し、これまでの振り返る機会をつくる。	
2		3			
3	鑑賞	2	○身の回りにあるものを造形的な視点で見つめ、新たな気付きや発見ができるようになる。 □鑑賞を通じて、見方や感じ方を広げる学習をする。(知識・技能) □造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫を考える。(思考・判断・表現)	・ICT機器(タブレット端末)を活用し、生徒一人一人が気付きや意見を発信できるようにする。	
備考		【鑑賞】通年、対話による鑑賞を行う。			